

【事業報告参考資料1】月例フォーラムの開催状況

*は震災特別プロジェクト共催

◎東京・市民社会研究フォーラム（日本NPO学会主催・大阪大学NPO研究情報センター協力）

会場：大阪大学東京オフィス（4～7月は田町の旧オフィス、10～1月は霞が関の新オフィス）

開講日：4月13日、5月11日、6月8日、7月13日、10月12日、11月9日、12月14日、1月11日の13:00-16:30

04/12：「ソーシャルメディアにおけるNPO関連情報の流通実態」粉川一郎（武蔵大学）

04/12：「*生活復興感と民間支援活動：被災地アンケート調査から」川脇康生（大阪大学）

05/10：「欧米における社会的投資の発展：社会的成果と投資収益の両立を求めて」小林立明（日本財団）

05/10：「*震災後の物資支援におけるNPO/NGOの役割：今後はどう生かすか」福本潤也（東北大学）

06/07：「市民社会に関するデータ利用と分析方法」山内直人（大阪大学）・立福家徳（内閣府）

06/07：「*地元NPOは震災後どう動いたか」大久保朝江（杜の伝言板ゆるる）

07/12：「ソーシャル・インパクト・ボンドとSROI（社会的投資収益率）：日本での導入可能性」伊藤健（慶應義塾大学）

07/12：「*公益法人の被災地支援活動」松田曜子（関西学院大学）

10/11：「新たなソーシャル・ファイナンスとしての社会的証券取引」小林立明（日本財団）・岩本奈応（日本取引所グループ）

10/11：「*海外から受けた支援の特徴と学び」高橋一生氏・シーク美実氏・高杉真奈氏（国際開発センター）

11/08：「CRM—社会貢献をマーケティングに活かす戦略」世良耕一（東京電機大学）・楠正吉（積水ハウス）

11/08：「*東日本大震災で示された応援消費のチカラ（仮題）」渡辺龍也（東京経済大学）

12/13：「*ICTの利用が仮設住宅居住者の社会的孤立に与える影響：釜石市を対象として」谷村祐実（早稲田大学）

12/13：「*寄り添い型支援のノウハウ構築：日本NPOセンターの震災事業評価より」今田克司（日本NPOセンター）

01/10：「*東日本大震災被災地における個人の選好と健康：日本老年学的评价研究データによる分析」芦田登代（東京大学）

01/10：「*NPO法人の雇用・就労と震災後の支援事業：NPO法人最新全国調査から」小野晶子（労働政策研究・研修機構）

◎大阪・NPO研究フォーラム（大阪大学NPO研究情報センター・日本NPO学会共催）

会場：大阪大学豊中キャンパス OSIPP 6階会議室

開講予定日：4月21日、5月19日、6月16日、7月21日、10月20日、11月17日、12月22日、1月26日の14:00-17:10

04/20：「*NPO・NGOによる震災後の情報発信：最新調査の分析から」岡田彩（同志社大学政策学部）

04/20：「*ボラサボ募金のデータ分析からみえる民間支援の現状と課題」早瀬昇（日本NPOセンター・大阪ボランティア協会）

05/16：（12:00-13:00）「アメリカ流変革（チェンジ）のつくり方」エミリー・サスマン（Center for American Progress and Action Fund）

05/18：「日本の自殺対策における行政とNPOの役割」森山花鈴（産業保健法務研究研修センター）

05/18：「アジアの市民社会とNGO：タイとカンボジアを中心に」秦辰也（近畿大学総合社会学部）

06/22：「グローバル化の下での企業の社会的責任と人権の課題」白石理（ヒューライツ大阪）

06/22：「CRM（コーズ・リレーテッド・マーケティング）による企業とNPOの新しい協働のカたち」楠正吉（積水ハウス）

08/03：「*防災におけるソーシャル・キャピタルと共助の役割：2014年版防災白書から」西澤雅道（内閣府防災担当）

08/03：「*NPOと協働型政策過程：東日本大震災避難者支援を例として」小田切康彦（徳島大学）

10/14：14:40-16:10「北東アジアにおける日米韓関係と地域協力の課題」エドワード・ドン（駐韓米国公使参事官）

10/19：「持続可能社会とNPOの人材育成」【関西国際交流団体協議会共催】

小川真吾（テラ・ルネサンス）、高井明子（セーブザチルドレン）、浜田進士（子どもの権利条約総研）＝ファシリテーター

11/16：「ファンドレイジングと協働」【関西国際交流団体協議会共催】

熱田典子（アジア協会アジア友の会）、碓井賀津子（日本国際飢餓対策機構）、佐藤大吾（ジャストギビング・ジャパン）、上杉賢郷（カエタル・ソーシャルエンタープライズ）、吉田忠彦（近畿大学）＝ファシリテーター

12/21：「*被災地のNPOの現状と課題：東北大学NPO/CB調査プロジェクトから」

高浦康有・佐藤勝典・中尾公一・菊池遼（東北大学経済学研究科）

01/25：「韓国における社会的経済の発展」林相憲（韓国・慶熙大学）・遠藤知子（関西学院大学）

01/25：「データで見るNPO法人の現状と課題：平成26年度特定非営利活動法人に関する実態調査から」立福家徳（内閣府）

03/18：「腐敗・汚職の歴史的ルーツ」Eric M. Uslaner (Professor of Government and Politics, University of Maryland)

【事業報告参考資料2】震災特別フォーラムの開催状況

第7回（2014年8月31日 日本財団ビル会議室 東京都港区）

国際シンポジウム

◇報告セッション「東日本大震災と民間支援の役割：震災特別プロジェクトの成果報告を中心に」

山内直人（大阪大学）＝モデレーター

*川脇康生「東日本大震災被災地における共助活動：被災地意識調査に基づく支援・受援の要因分析～被災地における受援と支援の関係」

*岡田彩「Role of Information in Mobilizing the Public towards Voluntary Actions in Times of Disaster」

*福本潤也・宮下侑子「A case study of relief supply activities by NPO/NGO after the Great East Japan Earthquake」

Louise Comfort（ルイース・コンフォート）（コメンテータ）

Huang, Chao Hsing（黄肇新）（コメンテータ）

◇基調講演 ルイース・コンフォート（Louise Comfort）「Disaster Resilience: A Systems Perspective（災害とレジリエンス・システム論の視点から）」

◇パネル討論（Huang, Chao Hsing・Louise Comfort・古田一雄・鹿野順一・菅野正寿）

「災害復興および防災における民間支援の可能性」

（Envisioning the Role of Private Nonprofit Sector in Disaster Prevention and Post-Disaster Reconstruction）」

第8回（2015年3月14、15日 武蔵大学江古田キャンパス 東京都練馬区）

第17回年次大会のなかで以下の3セッションを実施

小野晶子（モデレーター）、小田切康彦・石田祐・浦坂純子・山内直人

「東日本大震災後のNPO法人の活動と働き方」

田中敬文（モデレーター）、飯塚正広・鈴木和隆・菊池広人

「復興支援の現状と中長期的課題：住宅・生活再建等に果たすNPOの役割」

西出優子（モデレーター）、大久保朝江、高浦康有、菊池遼

「東日本大震災後のNPOの活躍とこれからの展望」